

試験日 : 2025 年 9 月 13 日 (土)

入試種別 : 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 秋期試験

学部・研究科 : 心理学研究科

科目名 : 英語

解答又は解答例

I

問 1 音調の違い(声の高さの違い)のみで単語の意味を区別すること。

問 2 第一言語が音調言語であることによりメロディーの認識を高める効果が、音楽を指導することの効果の半分ほどあった。

問 3 メロディーの認識は高まるが、リズムの認識においては弱いこと。

問 4 先行研究では 2 言語のみの比較が多く、文化の違いの影響が否定できなかったが、今回の研究では多数の地域、言語を含む比較であり、より一般化できる結果であった。

II

カナダのケベックの小学生を対象に、1 週間の授業をすべて学校で行う群と、週 2 時間を公園や緑のある場所に行き算数などの授業を行う群とでメンタルヘルスの比較を行った。介入前から不安、うつ状態、攻撃性などの問題を抱えていた子どもたちにおいて、公園等で過ごす群のほうがメンタルヘルスが向上し、もともとの問題の度合いが高い子供ほど軽減の効果が高かった。

III

<採点のポイント>

文章がどの程度読みやすく、的確に情報を伝えているか評価する。具体的には、各文における語彙や文法の正確性、また文のつながり方などから文章全体の構成を評価し、読みやすさを評価する。加えて、内容が抽象的、一般的な情報に終わらず、具体的な情報を盛り込むなどして個人の考えがどの程度表されているかといった情報量の面も評価する。